

# 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種のお知らせ

ワクチンは  
**無料**  
で接種できます

※9月6日時点の内容です。国の方針やワクチンの供給スケジュール等により変更になる場合があります。

## オミクロン株対応ワクチン接種について

国は、オミクロン株対応ワクチン接種の実施について調整しています。  
町は、国の方針に基づき、下記の予定で接種体制の準備を進めています。

- 対象者**  
初回接種（1回目・2回目）を完了した 12歳以上の人 ※初回接種では従来株ワクチンを使用します。
- 接種開始時期**  
10月中旬以降順次（予定） ※前回の接種から5カ月経過後に接種できます。
- 使用ワクチン**  
オミクロン株（BA.1）と従来株に対応した2価ワクチン（ファイザー社製）  
※モデルナ社製のオミクロン株対応ワクチンは、県の集団接種で使用される予定です。モデルナの接種を希望する人は、10月以降の県の集団接種をご検討ください。
- 接種券発送時期**  
対象者には9月下旬に順次、接種券一体型予診票を発送予定です。  
※既に3回目または4回目の接種券を発送している人へは改めて発送しません。まだ接種を受けていない人は、お手持ちの接種券を使用してください。

従来株ワクチンの接種も、オミクロン株に対して一定程度の重症化予防効果が期待されます。  
現在、3回目用または4回目用の接種券一体型予診票をお持ちの方は、オミクロン株対応ワクチンの接種を待たずに、（従来株ワクチンの）接種を受けられることをお勧めします。

## 小児（5～11歳）の3回目接種について

国の方針を受け、9月から小児の追加接種（3回目接種）を開始します。対象者には順次、「接種券一体型予診票」を発送します。

- 対象者** 2回目接種を完了した日から5カ月以上経過した5～11歳の人
- 使用ワクチン** 小児用ファイザー社ワクチン
- 3回目接種用予診票および通知文書発送スケジュール**

2回目接種を完了した月	3回目「接種券一体型予診票」の発送時期	3回目接種時期
令和4年4月	令和4年9月中旬	令和4年9月以降
令和4年5月		令和4年10月以降
令和4年6月	令和4年10月中旬	令和4年11月以降
令和4年7月	令和4年11月中旬	令和4年12月以降
令和4年8月	令和4年12月中旬	令和5年1月以降

☎・予約先 **新型コロナウイルスワクチン問い合わせセンター（コールセンター）**  
☎ **0120-800-417**（受付時間：平日午前9時30分～午後4時）  
※予約時には、お手元に接種券を用意してお掛けください。

## 町戦没者追悼式 戦後77年 戦没者の冥福と平和を願う

町戦没者追悼式が8月5日、中央生涯教育センターで行われました。参列者は、日清戦争から太平洋戦争までに町から出兵し、犠牲となった英霊429柱の冥福を祈り、恒久平和を誓いました。町遺族連合会千田力会長は「ウクライナでは子どもを含む多くの方が犠牲となっている。平和のため遺族の役目として、同じ悲しみが繰り返されないよう努力する」と追悼の言葉を述べました。



英霊429柱を弔い、献花する参列者たち

## 岩手ふるさと農業協同組合と包括連携協定締結 地方創生の推進へ連携を強化

町は、8月8日、岩手ふるさと農業協同組合と地方創生の推進に関する包括連携協定を締結しました。農業の振興や食農・食育、暮らしの支援、健康増進、地域の防災・災害など5つの柱を基本に、両者が連携して地域課題に取り組みます。岩手ふるさと農業協同組合後藤元夫会長は「農業の大切さを地域に発信しながら、食育や防災にも町と協力して取り組みたい」と誓いました。



協定書を手取る後藤会長（左）と高橋寛寿町長（右）

## 全国和牛能力共進会 出品者が町長に表敬訪問

10月に鹿児島県で開かれる全国和牛能力共進会に県代表で出品される和牛の生産者（JA岩手ふるさと管内）と県立水沢農業高校の生徒が8月29日、高橋寛寿町長に上位入賞の決意を示しました。町出身の生産者高橋浩司さん（下永徳寺）は「関係者にご協力いただきながら日本一を目指して精一杯頑張りたい」、同校3年の猪苗代大智くん（御免）は「全共に向けて頑張ります」と抱負を語りました。



高橋町長を表敬訪問した高橋浩司さん（前列左3）、猪苗代くん（前列右2）と出品者の皆さん

油圧切断機を使用し、車のドアをこじ開ける団員ら



## 町消防団が火災防御訓練を実施

町消防団による火災防御訓練が8月28日、千貫石森林公園で行われました。団員を中心に約150人が参加し、森林火災防御訓練や建物・車閉じ込められ者救出訓練など、さまざまな災害に対応した訓練を実施しました。

白糸まちなみ交流館に飾られた七夕飾り



## 七夕飾りが来場者を楽しませる

白糸まちなみ交流館の七夕飾りが7月31日～8月10日、同館に飾られ、多くの人を訪れました。15年以上続いている七夕飾りは、地元団体「しらいと」の会員が1カ月以上かけて手作りしており、来場者を楽しませました。